



地震対応マニュアル

熊谷市立江南北小学校
令和2年5月改訂版

熊谷市の震度	地震発生時の場所別対応ガイドライン			備考
	校内	登下校中	自宅	
震度5弱以上 ・立っていることが困難 ・壁や天井にヒビ・電柱が揺れる	・授業打ち切り ・引き渡し実施	・最寄りの安全な場所に避難 ・地震が収まったら、学校か自宅の近い方に行く。 ・保護者は、通学路を通して児童を迎えに来る。 ・学校にいる児童の引き渡しを行う。	・自宅待機	テレビ・ラジオ等で、熊谷市の震度が5弱以上の報道 防犯メール及び江南北小学校 H.P.で連絡。 ※停電等で掲載できない場合もある。
震度4 ・歩いている人のほとんどが揺れを感じる ・電線が大きく揺れる	【校舎等に被害があり、教育活動に支障をきたす場合（給食の配食が行えない場合を含む）】 ・震度5弱以上と同じ対応			
	【校舎等に被害がほとんどなく、教育活動に支障をきたさない場合】			
	・児童の安全を確保しながら、教育活動を実施。	・最寄りの安全な場所に避難 ・地震が収まったら、学校か自宅の近い方に行く。（自宅待機または登校） ・登校途中自宅に戻った場合は、その旨を学校に連絡する。 ・安全の確認後、学校へ登校する場合は、保護者が付き添う。子どもだけでの登校はしない。	・安全を確保 ・自宅待機または登校	※児童が自宅にいる場合は、何らかの方法で学校に連絡をする努力をする。学校側は全員の安否の確認を行う。
◇一斉下校を行う場合 ・教職員は、通学路の安全確認、下校の引率を行う。 ・下校時刻前に保護者が迎えに来た場合は、その時点で引き渡しを行う。 ・下校後、家に誰もいない児童に対しては、保護者が迎えに来るまで、学校に児童を待機させる場合もある。児童が帰宅していない場合は、学校に連絡する。 ・学童児童は学童へ。 ◇引き渡しを行う場合 ・迎えに来られない場合は、保護者等が迎えに来るまで、学校で児童の安全を確保する。			※左記の場合には、防犯メール、江南北小学校 H.P.及び学級連絡網で連絡する。 ※必要に応じて江南中へ下校誘導の依頼（江南中536-1335）	
震度3以下	・児童の安全を確保しながら、教育活動を実施（通常の授業）	・揺れを感じたら、最寄りの安全な場所に避難する。落ち着いて行動する。 ・地震が収まったら、学校か自宅の近い方に行く。 ・下校時には、注意を再確認。 ◇登校途中、自宅に戻った場合 ・安全確認後、できるだけ保護者が付き添って登校。必要に応じて学校へ連絡。 ◇下校途中、学校に戻った場合 ・安全確認後、教職員が付き添って下校。	・安全確保	※欠席する場合は、何らかの方法で学校に連絡をする。

*このガイドラインは、「熊谷市立幼・小・中学校地震発生対策ガイドライン」を受けて作成しています。
 *震度は一応の目安です。被害の状況により、児童の安全を第一に考えて、対応を変更することもあります。
 *警戒宣言が発令された場合は、震度5弱以上に準じます。

◆◆◆ 緊急時（非常災害等を含む）の引き渡しについて ◆◆◆

- ① 原則として、保護者が学校に迎えに来てください。
- ② どうしても保護者が迎えに来られない場合は、引き渡しカードに書かれている方のみが引受人になることができます。
- ③ 保護者または引き渡しカードに書かれている方が迎えに来られない場合は、児童は学校に待機させます。（保護者は、迎えに来られない旨を学校に連絡するように努めてください。）
- ④ 児童の最終安否確認のため、引受人が同居の家族でない場合は、児童が保護者に無事に会えた時点で、保護者は学校に連絡してください。